

平成26年度 東久留米市立南中学校 学校評価報告書

学校教育目標	愛 勉学 自主性 健康	教育ビジョン	【目指す学校像】	○知・徳・体の調和のとれた生徒を育成する学校 ○人権尊重の精神に基づく教育活動が展開される学校 ○生徒、保護者・地域から信頼され期待に応えられる開かれた学校
			【目指す生徒像】	○あいさつ、返事がしっかりできる生徒 ○自分も友達も大切にできる生徒 ○自学自習の習慣を身に付け、自らを高めることができる生徒 ○目標をもち進んで挑戦する生徒
			【目指す教師像】	○常に研究と修養に励む教師 ○学校教育目標及び学校経営方針の具現化のために、組織的に生徒を指導する教師。
前年度までの学校経営上の成果と課題	特段の生活指導上の課題はなく、生徒は落ち着いて学校生活を送っている。一方で、学力については学力調査等の結果から、国や都の平均正答率を上回るなど学校全体の傾向は概ね良好ではあるものの、一層の学力向上に取り組む必要がある。			

教育委員会基本方針	No.	評価項目	評価内容	中期経営目標(3年間程度)	短期経営目標(1年間)	具体的方策	評価指標・評価基準		自己評価			学校関係者評価		次年度の方策
							取組指標	成果指標	取組	成果	課題と改善策	評価	コメント	
安全な学校と信頼される教育の確立	1	学校経営	学校が組織的に運営され、教育活動の継続化が図られている。	全校体制で取り組む意識の涵養	各学年共通の認識で教育活動を実施	企画会構成員による連絡・調整の徹底	毎月3回以上の企画会の実施		4	4	生徒、保護者と学校の信頼関係に基づく、生徒理解、生活指導を推進していく必要がある。そのため、生活指導部及び特別支援委員会との連携の強化と組織的な指導、対応に努めていく。	3.4	○3年生はあいさつがしっかりできている。 ○教員の対応が迅速になってきた。 ○教育の第一義的責任は家庭にある。学校が家庭教育まですべきか疑問である。	生活指導については、学校として意図的・計画的に指導し、組織的に対応していく。
	2	生徒理解	生徒の言葉に耳を傾け、丁寧に観察し、一人一人の内面や特徴の把握に努めている。また、生徒の課題を把握して指導改善に生かしている。	人権尊重の精神に基づく教育活動の展開	職員間での情報の共有及び共通実践	学年及び分掌組織内での情報交換の徹底	毎週1回特別支援委員会の実施	気楽に相談できる生徒 80%以上	4	2		3.2		
	3	安全・安心の対策	生徒の安全確保のために、施設・設備の改善に努め、日常の安全管理及び安全指導を徹底している。	防災計画や危機管理体制の充実	学校の実態に応じた指導内容に改善	地域・保護者との、地域防災訓練の実施	年1回大規模地域防災訓練の実施	そう思う保護者の割合90%以上	4	3		3.2		
	4	情報発信	学校便り、学校ホームページなどで、保護者や地域に学校の教育活動の様子を分かりやすく知らせている。	学校ホームページの抜本的な改善	HPを随時更新し、学校行事など教育活動を常に発信	HP掲載の日常の教育活動を随時更新	学校行事実施後直ちにHP更新	そう思う保護者の割合90%以上	4	4		3.2		
	5	地域参加	生徒の生活の連続性を踏まえ、家庭及び地域社会と連携するために、教職員や生徒を地域の行事などに積極的に参加させる。	新たな取組として奉仕活動等を企画実施	生徒、教員の地域行事への積極的な参加	青少協と連携し、地域行事等に	主幹教諭等基幹職員の参加促進	そう思う保護者の割合90%以上	3	4		3.0		
	6	家庭教育	生活に必要な習慣を身に付け、自立心を育成し、心身の調和のとれた発達が図れるよう家庭教育を支援している。	家庭学習の時間の十分な確保	学習計画表を活用した家庭学習の実践	学習計画表の作成・実施の励行	定期考査前、毎日計画表を点検	そう思う保護者の割合90%以上	4	2		2.8		
確かな学力の育成	7	授業の工夫・改善	基礎・基本の定着をめざし、指導方法の工夫改善に努めている。	個に応じた指導、補習等での学力の定着	授業研究の推進	全教科で研究授業及び研究協議を実施	年間10回の研究授業の実施	分かりやすいと思う生徒90%以上	4	3	学力向上のために、個に応じた指導をさらに推進していく必要がある。特に発展的な学習の機会と内容の充実を図っていく。	3.4	特になし	学力向上のために、全教育活動で行う五輪・パラリンピック教育をとおして、生徒の学習意欲の向上を図る。
	8	個に応じた指導	各教科において個別指導やグループ学習など、生徒一人一人の実態に応じた、指導形態を工夫している。	個に応じた指導の体制、方法の具体化	補習・追試など各教科で特色ある取組を推奨	放課後等を活用した個別学習の実施	長期休業、考査前の補習等の実施	そう思う保護者の割合80%以上	3	2		3.0		
	9	環境教育	科学的な見方や考え方を育成するために、観察・実験を充実させるとともに、環境への意識や実践する意欲を高めている。	電気使用量の前年度比5%の削減	無駄な電灯を率先して消灯することの徹底	日常的に繰り返して指導することの徹底	年間3回の削減月間で意識啓発	そう思う保護者の割合80%以上	3	2		3.0		
	10	特別支援教育	特別支援教育コーディネーターを中心とした組織的な対応に努めている。	SC、関係機関等と連携した体制の構築	専門家及び関係機関の積極的な活用	SC、SSW等の助言に基づく支援の実施	毎週1回特別支援委員会の実施	そう思う保護者の割合80%以上	4	2		2.8		
人権尊重及び社会貢献の精神の育成	11	人権教育	自他を大切に、偏見や差別を許さない、豊かな人権感覚を育てよう教育を行っている。	重要課題であることの認識の徹底	丁寧に適切な言動の徹底	学年、学級だより等の校正の徹底	配布物等を複数で確認	そう思う保護者の割合80%以上	3	3	生徒の良好な人間関係を構築していくために、生徒、教師ともに人権感覚を更に磨いていく。	3.2	特になし	体験的活動の充実をとおして、生徒の良好な人間関係を構築していく。
	12	規範意識	生徒の服装や通学態度、授業を受ける姿勢、挨拶や返事など社会性や基本的なしつけを徹底している。	生徒一人一人の自主、自律	生徒会を中心とした生徒主体の活動の実施	全教育活動を通じて全校体制で指導	毎朝、登校時の校庭での挨拶の実施	そう思う保護者の割合90%以上	3	4		3.6		
	13	体験活動	運動会や文化発表会、合唱会、宿泊行事などの学校行事の内容を工夫し、生徒同士の意見交換を充実させ、自治的な力を養っている。	様々な体験による対外的な親和性の育成	自分の考えを相手に伝える機会の充実	生徒の実行委員会の活動の活性化	全行事に生徒の実行委員会を設置	そう思う保護者の割合90%以上	3	4		3.4		
健やかな心と体の育成	14	道徳教育	生命を大切に、心や他人を思いやる心、善悪の判断や規範意識を育てるなど、道徳性を育む教育を行っている。	生徒一人一人の道徳的実践力の育成	全教育活動を通して道徳教育を推進	ねらいとする道徳的価値の生徒への明示	意図的な道徳の時間の実施	そう思う保護者の割合90%以上	2	3	不登校の解消に向け、適応教室等との連携強化に努めていく。	3.0	特になし	五輪・パラリンピック教育をとおして、豊かな心の育成と体力の向上を図っていく。
	15	健やかな身体	心身の健康の保持増進のための健康・安全に関する学習を充実させている。	日常的に運動に親しむ生徒の育成	体育的行事における自己目標の設定と実践	朝練習の機会の設定と指導の充実	全生徒の朝練習参加	体力調査国平均以下項目数5減	3	3		3.2		
	16	教育相談	不登校生徒の状況を把握し、学校不適応に対する組織的な体制を構築して取り組んでいる。	常に専門家、関係機関と連携	SC等の助言の下、具体的な対応策の検討・実施	全校体制で共通理解、共通実践の徹底	毎週1回特別支援委員会の実施	不登校者数4人減	3	3		2.8		
特色ある教育活動	17	進路指導	生き方について考えさせ、社会への参加を意識して自らのよりよい進路を模索させる。	意図的・計画的なキャリア教育の推進	教育課程の確実な実施	職場体験等を通じた将来像の構築	職業調べ、職場体験等の計画的実施	そう思う保護者の割合80%以上	3	2	部活動外部指導員の確保に努める。	3.4	特になし	外部指導員の確保に努め、部活動の存続を図る。
	18	部活動・特別活動	課外活動等を活性化して、学校全体に活力をもたらす取組になっている。	自主的な課外の活動の充実	部活動加入率の向上	複数顧問による指導体制の確立	全部活動の複数顧問の設置	そう思う保護者の割合80%以上	3	2		3.0		

